

2024年11月1日

神戸学園都市 YMCA こども園 11月えんだより

11月の聖句「成長させてくださったのは神です。」

コリントの信徒への手紙Ⅰ 3章6節

山々の紅葉が楽しい季節がようやく訪れました。同じ紅葉でも「紅」と「黄」では変化の仕組みが異なるようで、いずれも太陽の光が弱くなり、気温が下がることで葉の色が変わるようです。この紅葉ですが、昔に比べると楽しめる時期が遅く、そして短くなったように感じます。太陽の光が弱くなる時期は昔も今も変わらないと思うのですが、気温の下がり方が大きく変化してきているのが原因となっているようです。とはいえ、台風の影響で延期となったゆり組のキャンプで訪れるキャンプ場にも、たくさんのもみじの木があるので、鮮やかな紅葉が見られるのを楽しみにしたいと思います。

もう随分前のことになりますが、YMCAの水泳プログラムに参加していた一人の男の子が、「もう水泳やめなあかん。」と言ってきました。よく話を聴いてみると、ここ数回のワッペンテストで課題をクリアすることができず、ワッペンが上がらなかったことでお父さんから「これ以上水泳習うのは無駄」と、水泳を辞めさせられるとのことでした。YMCAの水泳ワッペンは、「カニ」から「イルカ」までの10段階あります。そもそもこのワッペンは、子どもたちが水泳の練習をするときに、次に練習していく「目標」が良くわかるようにということで作られたものです。それぞれのワッペンに設定された1段階ごとの「目標」は、かなり高いものになっているので、子どもたちがより目指しやすいようにと、1つのワッペンの中でも細かく「目標」を分けて設定されています。けれども、このお父さんは、何度もワッペンテストをクリアできずワッペンが変わらない（＝課題をクリアできない）のなら、水泳を続けても無駄という結論に至ってしまったのだと思います。そして、この子どもたちの「目標」となるべき水泳ワッペンが「課題」になってしまったのです。次の「目標」に向かって懸命に練習する子どもたちが、一つの目標をクリアするのに2, 3回の練習でできることもあれば、何十回もかかることもあります。どのタイミングでクリアできるのかは、本人も、担当の指導者もわかりません。練習を積み重ねているうちに、気づいたら「目標」が後ろになってしまっていることも・・・。

今、多くの人が注目している大谷選手。彼にとってワールドシリーズ優勝は「課題」ではなく、「目標」だと思います。少し違う言い方をすると、この「目標」は「夢」かもしれません。自分の「夢」に向かって歩みを続けていると神様が成長させてくださるのだと思います。そして、時には「夢」を修正する力も成長させてくださっているのでしょうね。

成長させてくださる神様の愛の中で、「夢」に向かい、寄り添って歩みを進めたいと思います。

11月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	みつける / どれにしようかな	感謝しつつ
月の願い	- お祈りや讃美歌を通して心地良さを感じる - 生活の中で、やりたいことにじっくり取り組み、関わりあう。 - 神様からのたくさんの恵みに感謝し触れて、遊びや生活の中に取り入れる。	- 神様がくださった恵みを礼拝や日々の生活の中で感謝する - 友だちや保育者と一緒に、何かになりきって遊ぶ楽しさを知る - 遊びの中で思うようにならないことや自分とは違う思いがあることを経験する。また、相手を思っている行動をしようとする。
讃美歌	「おほしがひかる」 こども改77	「あなたの平和の」 聖歌集増補版1